



早川 貴光 議員

人口減少への
取り組みについて



Q 課題解決のために少子化対策・女性活躍担当を設けるとのことだが、どのような方にどういう意識を持って担っていただくのか伺いたい。

A 総合政策部長

少子化対策・女性活躍担当については、総合戦略推進室、こども課及び人権・男女共同参画課の兼務職員体制により、女性が活躍できる社会の実現に向け、結婚や子育て、仕事との両立をしやすい環境を整備します。

女性に過度な負担を強いることがないよう、自らがやりたい姿になれるよう、市全体で持てる力、能力を発揮し、それぞれが望む形で活躍できる社会の実現を目指していくことが大切であると考えています。これを実現するためには、まずはお互い支え合うべき存在である男性の意識改革が大切であると考えています。



鈴木 靖宏 議員(蒼生会)

クリケット事業
について



Q 地域価値創造マネージャーの選任後、運営が思うようにならず、改めて事業手法を業務委託に切り替え、現在に至っている。今後の運営形態はどのような手法を用いて実践していくのか伺いたい。

A 市長

目標とする※KPIの達成や、プロジェクト全体の自走化は難しい状況です。本市は、クリケットによるまちづくりを他市に先駆けて地方創生事業として推進し、令和2年で一区切りとなります。これまでプロジェクトに対しては、厳しい意見もいただいています。本年度の取組において改めて課題を整理し、実績と成果を検証していきたいと思っています。

その上で、本市の地方創生の目的達成のために、有効な事業と判断できるものについては、知恵を絞って実施していきたいと考えています。

※KPIとは・・・

key performance indicatorの略。組織やチームで設定した最終的な目標を達成する上で、その過程を計測・評価するための定量的な中間指標のことです。



亀山 春夫 議員(政友みらい)

作原沢入線の
通行止めについて



Q 作原沢入線の通行止めについて、栃木県との連携で早期に通行止めが解除できるよう、林道の格付などに取り組み、管理区間約14キロの新たな林道管理とすることを期待しているが、市の考えを伺いたい。

A 市長

林道作原沢入線については、平成29年11月、全線が開通しましたが、その後、土砂流出等が続いたため、利用者の安全を第一に考え、平成31年4月から一般車を抜本的に防止するためには、林道上部の林地崩壊箇所での治山工事が必要であると認識しており、この治山工事の実施について、栃木県に對し要望をしています。今後も、林道作原沢入線の安全な通行を確保していくため、栃木県と連携して対応したいと考えています。



▲ 作原沢入線の土砂流出箇所